

ASKは満4歳 寄付累計は1億円を突破

2014年4月に誕生したアーツサポート関西(ASK)は、今年の4月で満4歳となります。市民や企業の寄付だけで関西の芸術・文化活動を支援してまいりましたが、4年間で寄付の累計が1億円に達しました。助成先は、伝統芸能、美術・デザイン、音楽、舞台芸術など様々な分野の70を超える個人・団体となり、皆さまからお寄せいただいた支援によって、たくさんの芸術家たちが活動を充実させることができました。

4年間のASKの取り組みと成果

寄付者の想いを乗せた「顔が見える」支援



ASKの活動の大きな特徴が、寄付者の意向を反映させた支援です。寄付をもとに個別のファンドを設け、そのファンドごとに寄付者のご希望に沿った公募を実施し、支援を行います。30歳未満の方を対象に500円で文楽が鑑賞できる文楽技芸員たちの取り組み「ワンコイン文楽」は、過去4年間にわたりASKのファンドが支えてきたもので、のべ2,000人の若者が国立文楽劇場で文楽を観劇しました。

京阪神ビルディング文楽支援寄金 岩谷産業文楽支援寄金
技芸員たちの取り組み「ワンコイン文楽」を各企業が引き続き形で支援を継続。

次世代を担う若い芸術家たちを支援



ASKは未来の文化を担う若者たちを積極的に支援しています。こうした考え方にご賛同いただき設置された「岩井コスモ証券ASK支援寄金」は、国際的な水準にある40歳未満の若手芸術家を支援。その中の一人、ヴァイオリニストの周防亮介さんは、その卓越した音楽性が認められてスイスのメニューイン国際音楽アカデミーから声がかかり、昨年10月から同アカデミーに留学。今後ますますの飛躍が期待されます。

周防亮介さん
留学先では、同世代の世界トップクラスの演奏家たちと共に演奏を磨いています。

支援者と芸術家たちをつなぐ、さまざまな取り組み



ASKへの寄付は新しい芸術体験のはじまりです。ASKは、寄付をした方々を支援先の現場にお招きして芸術家の方々と交流していただくパトロン・プログラムを、年20回ほど開催しています。また、支援を受けた芸術家の方々のパフォーマンスをご覧いただく成果報告会には毎回多くの方々にお越しいただき、好評を博しています。

ASKサポーター感謝のついで
2016年春に大阪能楽会館(昨年末に閉館)でASKが支援したアーティストのパフォーマンスを披露。

ASKのこれから

おかげさまでこの4年間、ASKは多くの方々に支えられ、多くの芸術家たちを支援することができました。一人でも多くのアーティストを支援するために、そしてこの取り組みを未来につないでいくために、引き続きみなさまからのご協力をお願いいたします。

サポーターズクラブ 法人会員制度 新設

2018年4月から、アーツサポート関西サポーターズクラブに新たに法人会員制度が加わります。これまでお一人1万円の個人会員のみでしたが、一口5万円の法人会員が新設されました。お申込方法や詳しい内容につきましては、ASK事務局までお問い合わせください。

Tel: 06-7507-2004 Email: ask@osaka21.or.jp

- 1口50,000円(年額)。何口でもお申しいただけます。
- ASKが支援するアーティストたちが会員企業を訪問して、パフォーマンスを披露します。

平成30(2018)年度 総額1,005万円を29事業に助成決定

平成30年度の公募助成の審査が行われ、総額1,005万円を、美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能の4分野29事業に交付することが決まりました。申込総数は133件、助成倍率は約4.6倍でした。選ばれた活動は、いずれも高い芸術性や将来性を有するものです。また、昨年からはじまった岩井コスモ証券ASK支援寄金助成では、平成29年度に支援した5名について継続的に支援していくことになりました。

採択された事業(例)

美術(個人) 事業者: 大坪晶

活動概要: 「Shadow in the House 制作プロジェクト」の調査など

1979年生れ。GHQに接收された邸宅の内部を撮影し、そこに写りこむ過去の痕跡と演動的な手法によって仮想の人体を重ねる写真シリーズ「Shadow in the House」を手掛けています。GHQが喚起する歴史の重み、戦前の西洋風住宅が受けた戦前戦後での人々の視線の変遷など、幾重にも堆積した日本の日常のある種の特異性が浮かび上がってきます。なお、このシリーズの制作の一環として、アメリカ公文書館に出向き、接收住宅の調査も予定しています。
助成額: 50万円



大坪晶さん



《Shadow in the House - Honda Tadatsugu House》Type C Print, 2017

音楽(個人) 事業者: 山口莉奈

活動概要: クラシックギターのコンサート開催およびコンクールへの参加など

1995年生れ。2017年第42回ギター音楽大賞にて第1位・大阪府知事賞を受賞するなど、若くして数々のコンクールで上位入賞を果たした山口莉奈さん。将来、国際的な舞台で活動するクラシックギタリストを目指し、来年1月にスペインのクラシックギターの名門アリカンテ大学への留学を予定しています。また、今年はその準備を兼ねて多くのコンサートやコンクールへの参加を予定しています。
助成額: 40万円



山口莉奈さん



第42回ギター音楽大賞授賞式
第1位および大阪府知事賞受賞

音楽(団体) 事業者: 一般社団法人タチヨナ

活動概要: 庄内つくるオンガク祭2018

生活保護世帯率が高く複雑な社会課題を抱える豊中市南部の子供を対象に、先進的なアーティストと一緒に身の回りの素材で音楽を創造するなどのワークショップや、アーティストも加わったコンサートで演奏を実施し、音楽を通して子供たちに「生きる力」を身につけてもらうことを目的とした取り組みです。大学生や地域の協力団体のスタッフにもかかわってもらいながら、プロジェクトを進めます。
助成額: 50万円



一般社団法人タチヨナ《庄内つくるオンガク祭2017》

舞台芸術(団体) 事業者: 一般社団法人HMP

活動概要: エイチエムピー・シアターカンパニー<狂騒の身体論I>『高野聖』(仮)

泉鏡花の代表作『高野聖』をもとに、現代演劇を創作初演。科白はほとんど用いず、俳優の身振りや身体の静止を用いながら作品を制作。狭い舞台空間を用意し、プロジェクターを用いて舞台上に文字を表示。文字は主に擬態語を用いて文学作品が持つ雰囲気や強調するなど、観客の想像力を引き出すような実験的な舞台を目指します。字幕は、日本語のほか、英語と韓国語を予定しています。
助成額: 50万円



一般社団法人HMP《四谷怪談 雪ノ向コウニ見夕夢》2017
撮影: 脇田友

伝統芸能(団体) 事業者：女流義太夫 瑠璃の会
活動概要：第三回女流義太夫演奏会 瑠璃の会

明治中期から昭和にかけて「娘義太夫」として大流行した女流義太夫は、その本拠地の大阪で芸芸員の減少などから平成21年の公演を最後に長らく途絶えていました。平成29年に瑠璃の会が立ち上がり、大阪の地で8年ぶりに女流義太夫の公演が行われました。瑠璃の会では今後、大阪の地での活動の拠点づくりや後継者の育成も見据え、定期的に公演を行っていく予定です。

助成額：50万円


 女流義太夫 瑠璃の会 《第二回瑠璃の会演奏会》
撮影：佐藤美幸

(写真は各事業者より提供)

平成30(2018)年度アーツサポート関西 助成先
岩井コスモ証券ASK支援寄金助成(交付額順)：総額400万円

分野	申請者	活動名	交付額(万円)
美術 デザイン	大坪 晶	GHQによる接収住宅の内部を撮影し、歴史の重みや日本の西洋住宅へ向けられてきた視線の変遷などを浮かび上がらせる。	50
音楽	松原 智美	クラシックアコーディオンの演奏活動や普及活動、作曲家への新作の委嘱など。	45
美術 デザイン	野原 万里絵	複数の他者による共同作業によって、一人の画家の表現を超えた重層的な広がりや特殊な時間感覚を表現。	40
伝統芸能	榎茂都 梅弥月	上方舞「榎茂都流」に伝わる創流当時の譜本の研究活動。およびそれにより掘り起こした作品の再演など。	40
美術 デザイン	金 サジ	在日韓国人として生まれ、社会的マイノリティの日常を創作的神話の世界として表現した写真シリーズを制作。	40
美術 デザイン	梅田 哲也	廃材の動くオブジェや実験的サウンドアートを手掛け海外へも多く招聘される注目のアーティスト。	40
音楽	山口 莉奈	注目の若手クラシックギタリスト。来年スペインの大学への留学を見越し、数多くの演奏会を開催予定。	40
美術 デザイン	宮坂 直樹	ブリュッセルやパリで学び、東京芸大にて博士号取得の気鋭の美術家。現代美術の自主企画展を開催する。	30
美術 デザイン	加藤 至	アーティストユニット「ヒスロム」の一人。子供の遊びのような感覚で社会の深層にある規範や暗黙の了解をあぶりだす。	30
美術 デザイン	前谷 康太郎	炎の揺らぎなどの自然の現象を撮影し、光学的アナログ変換を介して原初的な様相に還元した映像作品を制作。	25
音楽	周防 亮介	関西出身の新進気鋭の若手ヴァイオリニスト。国際コンクールやマスタークラスへの参加を予定。	20

一般助成(交付額順)：総額500万円

分野	申請者	活動名<活動期間>	助成額(万円)
美術 デザイン	一般社団法人brk collective[ブレコ]	NISHINARI YOSHIO <4/1 ~ 2019/3/31>	70
音楽	next mushroom promotion	エレクトロ・ヒーロー来臨(仮題)<11/9>	50
音楽	一般社団法人タチヨナ	庄内つくるオンガク祭2018 <6/1 ~ 8/26>	50
舞台芸術	一般社団法人HMP	エイチエムピー・シアター<狂想的身体論 I『高野聖』(仮)><10/12 ~ 21>	50
舞台芸術	関 典子	モーション・クオリア研究~自由落下による必然的な動きと表現~<11/25、2/3>	50
伝統芸能	女流義太夫 瑠璃の会	第三回 女流義太夫演奏会 瑠璃の会 <2019/3/2>	50
美術 デザイン	冬木 遼太郎	ファミリー・リバーズ・シアター <4月~9月>	40
美術 デザイン	特定非営利活動法人ANEWAL Gallery	ANEWAL Gallery Residency Program <4/1 ~ 2019/3/31>	20
音楽	一般社団法人日本テレマン協会	高田泰治 チェンパロ・リサイタル(4公演)<7月~2019/3月>	20
音楽	神戸大アートマネジメント研究会	子どものためのコンサート第11弾(仮)<11/10>	20
舞台芸術	應典院寺町倶楽部	縁劇フェス <6/21 ~ 24>	20
舞台芸術	VOGA	第15回公演『直観と情熱、あるいは死と詩(仮)』<11/3 ~ 11/7>	20
舞台芸術	kondaba	kondabaの旗揚げ公演『彼らの生活(仮)』<11/9 ~ 11/11>	20
伝統芸能	坂東 竹之助「第一回竹之助の会」	第一回竹之助の会 <8/4>	20

個別寄金助成(交付額順)：総額105万円

寄金名	申請者	活動名<活動期間>	助成額(万円)
八千代電設工業伝統芸能支援寄金	志芸の会	夏休みキッズ狂言教室・夏休みキッズ狂言会・志芸の会の『小学生への出前狂言』<6/1 ~ 12/25>	50
北倶楽部記念寄金	ハーベストコンサーツ	朝の光のクラシック 第72回『登坂理利子ヴァイオリンコンサート』第73回『牧野葵美 ヴァイオリンコンサート』<7/16、9/30>	45
ささやか寄金	アトリエインカーブ	アートフェア東京出展事業 <2019/3月>	5
ソフィア寄金	森村 誠	OTW シリーズの大型作品の制作 <4/1 ~ 2019/3/31>	5

(敬称略)